

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	高松市総合計画審議会 第1回会議
開催日時	平成19年9月6日(木) 15時00分～17時03分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	(1) 会長および副会長の互選について (2) 高松市新総合計画(仮称)基本構想(案)について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	井原会長、柘植副会長、増田委員、南雲委員、菊池委員、山下委員、加藤委員、久利委員、児玉委員、小西委員、多田委員、谷本委員、野田委員、野町委員、福家委員、松浦委員、牟禮委員、森(真)委員、森(正)委員、井上(博)委員、中橋委員、長谷川委員、松下委員、宮本委員
傍聴者	2人 (定員10人)
担当課および連絡先	企画課 839-2135

審議経過および審議結果

次のとおり、会議を開催した。

- (1) 会長および副会長の互選
高松市総合計画審議会条例第3条第1項の規定により互選(結果)
会 長 井原委員
副会長 柘植委員
- (2) 高松市新総合計画(仮称)基本構想(案)について(諮問)
市長の諮問に基づき、高松市新総合計画(仮称)基本構想(案)について審議することとした。
- (3) 会議の成立および会議の公開について
会長は、会議の成立および会議は公開するとの確認を行った後、次の議題について協議し、下記の結果となった。
- (4) 高松市新総合計画(仮称)基本構想(案)について
高松市新総合計画(仮称)基本構想(案)について事務局から説明

以後審議

(会 長)
本日は、個々についての質問より、全体的な枠組みについての質問をいただきたい。

(委 員)
具体的な意見を言う機会はあるのか。

(事務局)
大きく前半と後半に分けて、議論をいただく中でお聴きしたい。

(委 員)
計画の期間が、なぜ、こう設定されたのか。

審議経過および審議結果

(事務局)

基本構想は、合併に伴う各町との建設計画がおおむね10年間の計画であり、この終期と整合させることとし、8年計画で考えたもの。

実施計画は、3年計画とし、2年経過した時点で見直すローリング方式としたもの。

(委員)

防災面からは、東南海・南海地震に触れているが、発生予想は10年で10%、20年で20%、30年で50%を超えることから、「時代の潮流(6)」での表現方法を、関心が高まるだけでなく、もう少しリアルに意識する工夫があっても良いのではないか。

(事務局)

差し迫ったという目線からの対応も考えてみたい。

(委員)

7ページの現状と特性の中で、安全・安心のまちづくりの立場からの資料を、もう少し出してもらえないか。

(事務局)

そのようなことも含めて、どんどん御意見を出していただきたい。

(委員)

追加資料1の施策体系表の中で、どこまで議論するのか。

施策なのか基本事業なのか。目標項目も対象になるのか。

PDCAによる評価のあり方等は、本書の中でどこに書かれているのか。

(事務局)

基本事業とは、施策の中の事業の塊として捉えていただきたい。

目標項目については、現在、検討中であり、より分かりやすい目標設定を考えていきたい。

PDCAについては、別途、進行管理について説明することとしたい。

(委員)

59ページ以降の目標項目についても議論するのか。

(事務局)

今後、全体をいくつかに分けて議論していただきたいので、その中でお願いしたい。

(会長)

少なくとも施策を検討するに当たって、その関連の中で目標項目に関係するので、それに触れても良いと理解して良いのか。

(事務局)

そのように理解いただきたい。

(委員)

この目標項目は、今後、議論の中で変わっていくもので、今は当面の対応として掲載されていると理解して良いのか。

(事務局)

現時点での項目を示したもので、今後、施策目標の項目として数値が把握できて、市民から見て分かりやすい目標であれば設定していきたい。

(委員)

今後、委員側の意見も取り入れていくということか。

文章表記と施策の表現方法がちゃんぽんになっている箇所も見えるので整理していただきたい。

(事務局)

そうしたことも含めて、全般的な御意見をいただきたい。

(会長)

審議経過および審議結果

全体の理解の仕方、今後の進め方等について意見をいただいているので、意見を出していただければ、生産的な議論にしていけるので、何でも発言してほしい。

(委員)

資料5で自助・共助・公助については記載しているが、今後はNPOも含めてこれからの議論に中ででてくると思うが、具体的な説明部分が基本構想の中にあっても良いのではないか。

(事務局)

現在の計画の中での指摘と伺えるが、新計画では40ページで整理しているように「参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり」を含めて新しく位置づけている。

(委員)

コミュニティの部分だけでなく、環境や子育ての部分も自助・共助の考え方で整理することがますます重要になってくると思うので、今後の議論の中で大切にしていきたいので、行政側においても、それらも念頭に整理していく必要があるのではないか。

(委員)

2ページの概念図にある、合併地区の建設計画・合併基本計画の内容が分からないので知らせていただきたい。

(事務局)

資料をお示ししたい。

(委員)

17ページのまちづくりの目標の1から6の順序の意味合いはあるのか。

(事務局)

6つの柱があるが、市としては、どの目標も積極的に取り組むこととしている。今回は、市長マニフェストにある「人づくり」も踏まえ、人づくりに関する目標を最初に持ってきたが、順序はついているが、同じように取り組んでいくことに変わりはない。

(委員)

例えば、メリハリをつけるという意味合いから、順序をつけられないか。

(会長)

これで合意をして順番をつけるというのは難しい。どれも重要であるという回答をもらったので、それでよいと思う。

(委員)

コンパクトシティを議論する中で「高松らしさ」がほしい。

高松らしさが見当たらないので、高松らしさ・高松スタイルを強調すべきではないか。

(会長)

高松らしさを出したいというのは、共通の思いであるが、難しいテーマでもあるので、是非、工夫していきたい。

(委員)

基本構想で具体的なものは出てこないし、個別的な事業に入らないと「らしさ」は出てこない。最初に具体的な意見を言う機会があるのかと問うたのもこのことであり、基本構想に「らしさ」を盛り込むのは無理だと思う。

(委員)

コミュニティを軸としたまちづくりが示されているが、地域はある意味では動いており、コミュニティをどうしていくかが施策であると思うが、地域の温度差も感じる。

審議経過および審議結果

地域によっても、人によっても違うのでリーダーと市民をつなぐ中間の橋渡し役も必要であり、これらをどう具体的に表現していくことが大切でないか。

(会 長)

コミュニティがうまく機能するような、そうしたものが政策の中に、うまく盛り込めていければ良いということか。

(委 員)

9ページの拠点性のところで四国の状況が整理されているが、四国だけでなく、環瀬戸内海で岡山や広島も含めた整理ができると違う見せ方ができるのではないか。

これからの三橋時代を考えると対岸も含めた中で、高松は、どういうパワーを持っているのかを具体的に整理してもらえると良いように思う。

(会 長)

「瀬戸の都」という言葉を入れるのであれば、瀬戸内の圏域を触れずして、それはないとも思う。

(委 員)

瀬戸の都という位置づけは、土地の成り立ちからして、海城があり、高松のようにコンベンションホールから海が見える、ビルから海が見えるというような海に面した街の例はなく、こうした高松の長所を生かし、短所を克服していけば良いと思う。

(会 長)

都市像の設定は、最後まで悩まれた様子が伺えるので、全体として合致するように、若干、足らずの部分もある感じがするので考えいただきたい。

まだ、意見があると思うが、時間的に限られているので、今日のところはここまでとし、発言できなかったことや改めて資料を読んだ意見や質問については、用紙に記入して提出いただきたい。

次回以降、実質的な審議をお願いすることとするが、十分な時間があるとは思っていないので、次回の会議の計画を御理解いただき、検討をお願いしたい。

次回以降の予定等について、事務局から説明いただきたい。

- ・高松市総合計画審議会開催日程について説明
- ・質問票について説明

(会 長)

全ての委員の意見を聴きながら進めていきたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

これをもって本日の会議は終了する。